

## ガバナー就任のご挨拶

第266地区ガバナー 戸田 孝



1982～'83年度を迎えるにあたり、国際ロータリー第266地区のガバナーとして皆さんと共に奉仕の道を進むご挨拶を申し上げることは身に余る光栄でございまして、深く感激致しております。

それと同時に、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。輝かしい歴史と伝統のある当第266地区は、歴代ガバナーの高邁なご見識、並々ならぬご尽力と各ロータリアンの素晴らしい奉仕によって築かれたものであります。私もその立派な土台の上に何かをプラスすべく精一杯頑張りたいと存じますので、格別のご声援をお願い申し上げます。

さて本年度は、いくつかの新しい課題が与えられていると思います。その第1は、日本の向笠広次さんが東ヶ崎潔元R.I.会長から14年を経て、日本人として2人目のR.I.会長に

就任されたことであります。

激動の世界の中でロータリーが何をなすべきか問われている今、全世界のロータリアンの目は一斉に日本より選出されたR.I.会長に注がれ、その活躍が期待されているのです。

私達は向笠R.I.会長が全世界約2万のロータリークラブ、90万余のロータリアンに示される奉仕活動に精一杯のご協力をしたいと思います。そうすることによって、私達の奉仕活動は一層意義深いものになると信じます。職業分類を基本に選ばれたロータリアンは毎年R.I.会長の指導を柱として、友情の輪を拡げつゝ、奉仕の理想に邁進することによって、各ロータリークラブは輝かしい業績を挙げて来たのであります。本年度こそは、日本のロータリーが活動の目となるのが全世界から期待されている年でありましょう。

第2は、懸案となっていた地区の分割が、種田ガバナーのご努力により実現し、世界有数の巨大地区が新生第264・266地区に分かれて運営されることになったことであります。

これを機に私達はロータリーの理想実現の為に、あらゆる努力を惜まざりきめ細い奉仕をなすべきであると思います。

第3は、世界的な政治、経済、飢餓、貧困、青少年問題等、多くの不安が渦巻く中で、世界的な広がりをもつロータリーの果すべき役割は？あなたの所属するロータリークラブのなすべき役割は？又、ロータリアンであるあなたの役割は？という問いかけをする時でも

ありましょう。

永いロータリーの歴史から私達は「会員どうしの信頼、思いやり、親睦を基に、個人生活、職業生活、社会生活に奉仕の理想を実現し、さらに、その輪を拡げて世界平和の達成に協力することがロータリー永遠の理想であると存じます。その理想の実現に当って私達は具体的にどうすればよいかを冷静に見つめ、一步一步着実に実行に移さねばならないと思えます。

先づあなたはその理想実現に最も相応しい人であり、地域の職業を代表する、大きな影響力をもったチャンピオンであることをもう一度認識して頂きたいと思えます。そのチャンピオンが集まって組織されたあなたのロータリークラブは素晴らしいエネルギーにあふれた個性豊かな集まりであることも知って頂きたいと存じます。

会長を中心に特色のある各クラブは、先づ内部の充実によってその原動力が貯えられ、地区大会をはじめいろいろの会合に参加し、いろいろの活動に加わることによって、自己を磨きながら貯えられたエネルギーを、価値ある行動に燃焼させてゆかねばならないと思えます。

1982年5月29日、日本より選ばれた向笠広次会長は国際協議会の本会議で次のテーマを

発表しました。

「人類はひとつ——世界中に友情の橋をかけよう」 その感激的な説明と激励に、万雷の拍手を浴びました。皆さんの祖先は何人居るかご存知ですか？両親、その両親と数えて10代前は、1,000人、20代前は100万人、30代前は10億人、これを未来にあてはめれば皆が親族であります。君の隣り前、横にいる見知らぬ親族、いとこと握手して下さい。政治、宗教、習慣、肌の色が異っても喜びは等しく喜びであり、悲しみは等しく悲しみであります。世界中の人々が、等しく平和を願っていることを考えて下さい。いとこの皆さん！

世界中の友情の橋をかけて下さい。心のわだかまりを取り除き、世界中のいとこと手を結んで下さい。皆さんの可愛い、子供、孫の為にも、今、ロータリアンがしなければならない大切な事があります。その為、私の信頼する素晴らしい90万ロータリアンは、全世界のいとこと手をつないで、着実に奉仕されるものと期待いたしております。

この素晴らしいテーマをどのように推進し、実現してゆくかを地区内の全いとこの皆さんと一緒に考え、行動して参りたい、と思えます。

皆様の格別のご協力とご支援をお願い申し上げます。

